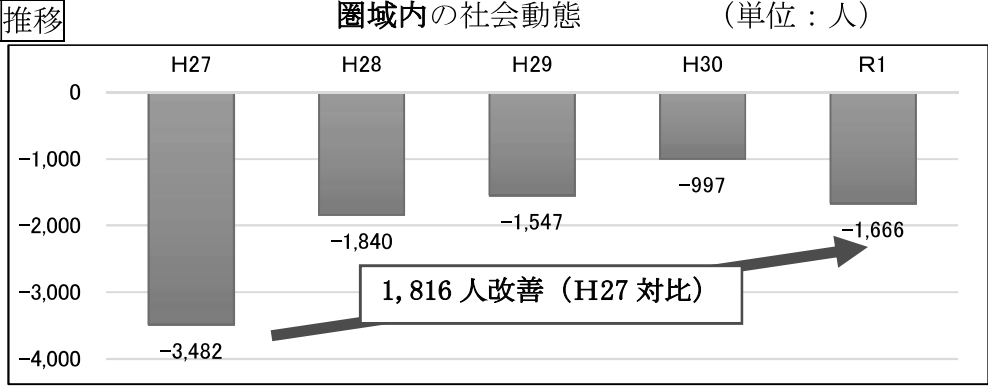


第 2 期 北九州都市圏域連携中枢都市圏ビジョンの概要

1 第 1 期ビジョンの成果と評価

【社会動態】

第 1 期の目標：プラスへ（R2）⇒5 年間で 1,816 人改善も目標未達成



課題：若者の首都圏・福岡都市圏への転出超過

第 2 期の目標：社会動態をプラス

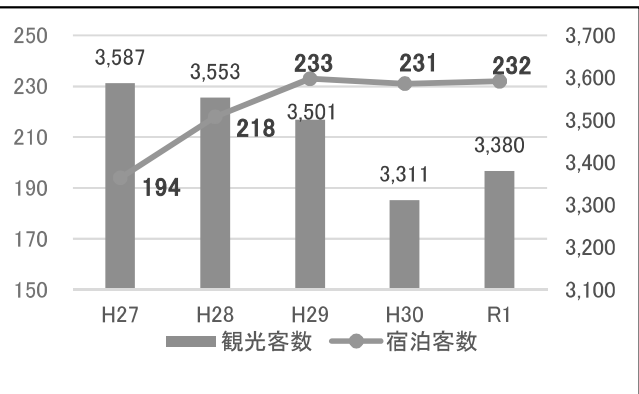
【宿泊・観光客】

第 1 期の目標

宿泊客 179 万人 (R2) ⇒達成 (R1)

観光客 3,672 万人 (R2) ⇒未達成 (R1)

推移 圏域内の観光・宿泊客数 (単位：万人)



課題：アフターコロナに向けた観光客誘致

第 2 期の目標：宿泊客数で令和元年実績を目指す。

【事業進捗】

第 1 期の目標

実施率 90% (R2) ⇒達成 (R1)

現状 ビジョン掲載事業の進捗状況

事業実施状況	R2年度 (3月18日現在)	
	事業数	実施率
総事業数	69	
実施中	65	94%
検討中 (未実施)	4	6%

課題：事業の多様化、市町のニーズ把握

2 第 2 期ビジョンで特に取組を強化する点

- ① 社会動態をプラスに改善
- ② 2050 年までの目標として「脱炭素社会の実現を目指す取組」を追加
- ③ 「アフターコロナをターゲットとした取組」を追加
- ④ SDGs の視点を追加

## 第2期 北九州都市圏域連携中枢都市圏ビジョン体系図

住みやすく、人を惹きつける圏域  
【目指すべき姿 (Vision)】

SDGsを原動力に圏域人口の急速な減少抑制  
【圏域の中長期の目標 (Target)】

### 成果指標

#### I 経済成長のけん引

- ◆北九州市内新規雇用者数
- ◆年間宿泊者数

#### II 都市機能の集積・強化

- ◆JR小倉駅新幹線口エリアの集客数
- ◆北九州空港の年間利用者数  
・航空貨物取扱量

#### III 生活関連機能サービスの向上

- ◆待機児童数
- ◆圏域の人口に対する転出者数の割合

### 主要事業

#### 経済成長のけん引

##### 脱炭素社会の実現を目指す取組

- 持続可能なまちづくりに資する脱炭素化の推進
- 地域エネルギー政策の広域化
- 風力発電関連産業の総合拠点の形成

##### アフターコロナをターゲットとした取組

- U・Iターン応援プロジェクト
- 移住・定住促進事業
- コンタクトセンターテレワーク拡大・推進事業

##### 戦略的産業の育成

- スタートアップ・エコシステムコンソーシアム事業
- 北九州空港物流拠点化事業
- 圏域における自動車産業振興事業

##### 戦略的な観光施策

- 広域観光連携事業
- クルーズ船入港時におけるPR
- 大規模イベント等の開催・支援

#### 高次都市機能の集積・強化

##### 交通・交流の機能強化

- 北九州空港の機能拡充・利用促進
- 小倉駅周辺賑わい創造事業の推進

#### 生活関連機能サービスの向上

##### 生活関連サービスの広域化

- 若者を対象とした就労支援
- 上水道事業の発展的広域化の検討
- ウーマンワークカフェ北九州運営事業

##### 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- 技術職員の相談体制の構築
- 地方創生に資するSDGsの推進
- 税・税外債権徴収スキル及び債権管理能力向上のための研修の実施

### SDGsの推進